

沖縄県粟国島、目立った観光資源のない過疎地域の離島に、海洋生物学の研究者から海洋写真家に転身したばかりの佳那子は撮影依頼を受けて向かった。依頼者の照屋いわく、粟国島の沖合にはかつてジュゴンの一大生息地であった「ザン岩」と呼ばれる孤島があり、島周辺の海底には現地で「シジムン フトウキー」と呼ばれる人型の岩が多数存在しているとのことだった。奇麗な沖縄の海に沈む人の形をした岩々、その光景はダイバーたちを呼び込む、有望な観光資源になるのは間違いないと思われた。

問題が一つ。島に伝わる言い伝えでは「シジムン フトウキー」はときおり目覚め、人を襲うと信じられていた。そのため「ザン岩」周辺は粟国島村民でも足を踏み入れてはいけない聖地となっていた。「ククル チチュン」という、「シジムン フトウキー」の声を聞く能力を持った島の少年、タケシを除いて。そんなタケシには、目の前で父のシンエイが「シジムン フトウキー」に襲われて溺死した過去があった。

立ち入ってはいけない禁忌を避けるために、照屋はタケシを同行させていたが、どこか反目し合う二人。そんな照屋とタケシと共に、「ザン岩」へと向かった佳那子はそこで沖縄からいなくなったはずのジュゴンの影をとらえる。ただの見間違いだと、度重なるダイビングで疲労困憊の佳那子を気づかう照屋とタケシをよそに、持ち前の探求心から佳那子は再び海に向かう。

何度潜ってもやはりジュゴンには出会えなかったが、佳那子は古びたダイバーズナイフが沈んでいるのを見つける。そのダイバーズナイフを握ったまま倒れているような「シジムン フトウキー」の姿も。佳那子が何気なくダイバーズナイフに触れると、静かな海を切り裂く悲鳴のような音が周囲に響き渡った。「シジムン フトウキー」は金気を嫌う。タケシから聞かされていた言葉の意味を理解するとともに、動き始めたとしか思えない人型の岩に襲われ、佳那子は身動きが取れなくなった。

溺水による脳の酸素不足に伴う幻覚なのか、気がつく佳那子は摂餌行動を取るジュゴンを見かける。愛用の一眼レフカメラも失くしてはおらず、どうせ幻覚なら最後の時までジュゴンを観察、撮影しようと思悟を決める。

刹那、頭上から数多の銚もつが降り注ぐ。牧歌的だったジュゴンの観察が一瞬にして惨殺の光景に変わる。そのうちに銚は銃弾に、そしてダイナマイトに変化する。それは沖縄のジュゴンを始め、世界中の海牛目が晒され続けた漁の光景であった。

佳那子の眼前で繰り広げられる惨劇の中に、爆発の衝撃で早産した雌のジュゴンと、へその緒で繋がった嬰兒がいた。せめて二頭は助けられないかと、臍帯を切るため佳那子はダイバーズナイフを取りに海底に向かった。

「シジモン フトゥキー」の姿はまだあった。先ほど佳那子を襲った一体と、それを牽制するかのようなダイバーズナイフを握ったもう一体も。どこか大人になったタケシを彷彿とさせるその一体からダイバーズナイフを受け取った佳那子は、ジュゴン母子を救うため二頭に向かう。

辿り着き臍帯を切った瞬間、頭上でダイナマイトが爆発する。吹き飛ばされ四散するジュゴン母子。彼らの血肉を全身に浴びながら、佳那子は無事だった。降り注ぐ銃、銃弾、ダイナマイト、ジュゴンたちを殲滅するそれらに晒されても無傷な佳那子は、自身がそこにいる理由を悟る。彼らの終焉を見届け、記録するためなのだ。

血煙で真っ赤に染まる海中で、佳那子は一眼レフカメラを構えて狂ったようにシャッターを押す。漁の名目で殺され続けるジュゴンたちの姿を、死骸が海底に沈んで朽ちる姿を、残った骨が石と化し岩礁となる姿を。撮りつくした佳那子も力尽きゆつくりと沈んでいく。このまま自分も朽ち落ちて同じ人型の岩になればいい、半ば満足気な佳那子であったが、終焉を記録したカメラだけが心残りであった。

佳那子の思いを汲み取ったかのように、海上から伸ばされる手があった。カメラだけでも託そうと、佳那子も手を伸ばした。触れた瞬間、温かく力強い手で引つ張りあげられた。海面にでると、そこには驚くタケシの姿があった。この地で亡くなった父親の声を「ククル チチュン」で聞いたタケシは、かつて父親が襲われる切っ掛けとなった自らが持ち込んだダイバーズナイフを見つけ、思わず手を伸ばしたのだった。

タケシは父親の声が聞きたいがために、聖地で金儲けを企む照屋の思惑を利用してこの地に来ていた。それが聖地を冒瀆する行為と知りながら。自らの過ちで一度ならず二度までも他人を巻き込んだことを深く反省するタケシ。

そんなタケシの姿もあり、佳那子も終焉の記録はこの地からだしてはいけなないと気づく。墓標として唯一残された聖地を曝けだしてはいけなないと、佳那子は照屋から見えないように全財産とも言える一眼レフカメラを海に沈める。

欲に目の眩んだ照屋だけが、タケシと佳那子の必死の制止を無視して、「シジモン フトゥキー」の蠢く海へとカメラを取りに向かった。